

設計力と開発力で

段ボールの可能性を追求

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



さまざまなパッケージ・ディスプレイ・保存箱等を開発

業務内容

パッケージ・ディスプレイ品の生産から通信販売まで

商品を梱包する段ボールケース、小売店で目にするディスプレイ什器等、段ボールを素材にした幅広いものづくりを手掛ける豊栄産業。同社は段ボール事業部、SP（セールズプロモーション）事業部、通信販売事業部の3本柱を持つ。

通信販売事業部では、自社開発品である段ボール製の帳票保存箱を昭和50年から販売。同社は通販がまだ一般的でなかった時代からオフィス向け通信販売を手掛けてきた、いわば草分け的存在でもある。

強み

設計力と開発力を活かしてディスプレイ分野を開拓

同社は長年にわたるパッケージの仕事で設計力・開発力、そして短納期にも対応できる力を培ってきた。その強みを活かし、ディスプレイ什器や販促品の設計・生産・出荷までを一貫して行う。

ジャンルは食品、家電製品、薬品、スポーツ用品等、多岐にわたり、同社の手掛けたさまざまなディスプレイ類がスーパーマーケットや専門店等の店頭を飾っている。

平成19年には首都圏での営業拠点として東京支社を開設。新たな顧客を増やす成果にもつながっている。

自開発

単層強化段ボールを始めさまざまな自社製品を開発

他社がつくっていない製品を次々に開発しているのも同社の強みだ。

「単層強化段ボール」は、通常の段ボールの4〜5倍の強度がある新素材。従来の強化段ボールに比べて薄く、加工性に優れ、コストは半額以下というメリットがある。現在は本棚等の家具を試作している段階で、今後はさらに販促物や什器等を含めて商品化を進めていく。

「フリーセレクション什器」は、トレーの幅や段数等を簡単に組み替えられるシステム型の什器。組立がしやすく低価格であるため、小ロットのニーズに最適だ。

オフィス用品の通販で販売しているのが「備蓄保存箱」。災害発生時の帰宅困難者向けに防災用品を保管する箱で、非常食の賞味期限等を管理できるソフトウェアを添付している。現在、特許申請中だ。



単層強化段ボール製の家具類

今後の展望

設計力をさらに発揮できるものづくりのために

現在、同社はいくつかの構想を持っている。一つは美術系大学や専門学校との産学連携による、アート性のある商品の開発。そしてアジア圏の企業と協業関係を構築し、海外に販路を広げていくことも検討している。さらに商品開発では、特殊な板紙の新素材も開発中で、約1年後の完成を目指している。同社はこれらの展望を着実に実現していく、設計力をさらに活かしたものづくりを進めていく。

COMPANY PROFILE

豊栄産業株式会社

当社の歴史

当社は祖父が創業して以来、主に段ボールケースの製造をしてきました。ディスプレイの仕事始めたのは、私が父の後を継いだ約12年前。当初は何もわからない状態でしたが、徐々に設計力を高めていき、今では売り上げの比率が逆転するまでになりました。今後も独自の発想を活かし、ブランド力のある企業を目指します。

感動・創造を定れず、オリジナリティあふれるブランド力を身につけたいと思います。

代表取締役 野々宮 英一郎さん



主な事業内容

段ボール・紙製ディスプレイ・パッケージの設計・制作・販売、帳票・備蓄保存箱の通信販売、強化段ボール製本棚等の設計・制作・販売等

主な取引先（納入先）

電子部品メーカー、精密機器メーカー、企画会社、印刷会社、食品メーカー等

住所／〒573-0136
枚方市春日西町
2-27-28
TEL／072-858-2651
FAX／072-858-7803
創業／昭和28年12月
設立／昭和36年7月
資本金／2,000万円
従業員／35名

<http://www.howay.com>